

はいへすまいる

～兵庫合研の成功をめざして～



2026.8.22(土)～24(月)

No.5 神戸 地域実行委員会ニュース

～つくりだそう 平和な世界 つながろう すべての子どもの笑顔のために～

2026年2月 発行

保護者プレ企画「親子で遊ぼう」開催！

1月31日に「親子で遊ぼう」という、その名の通り、親子で遊んで、交流して、すこし学ぶというイベントを開催しました。計11人が参加。

イベントの冒頭は遊びの時間。ふれあい遊びや、大きな布を用いた遊び、体の柔軟性や体幹を同時に鍛えられる遊びなど、子どもも大人も笑顔でいっぱい身体を動かしました。子育て相談の時間では、それぞれの子育ての悩みを交流、共感したり保育士さんにアドバイスをもらったり。もちろん兵庫合研の紹介も。

私自身は、思っていたよりも楽しくかつタメになつて、企画に関わって良かった～と 思っています。8月の兵庫合研にむけて、それ以降も何か楽しく取組みを 続ければなと思っています。 保護者実行委員 です！



第6回 神戸地域実行委員会



参加者の声

震災直後のことについて語られる増田さん。その姿が尚更、参加者の胸に響きました。保育所は児童福祉施設であること。24条1項が残された意味。だからこそ、その役割について深く考えさせられました。

1月の実行委員会では、震災企画として、兵庫県保育所運動連絡会会長の増田百代さんに、災害直後の様子と運動の取組み、そして保育所の役割についてご講演頂きました。今回は拡大実行委員会として、実行委員以外にも幅広くご参加頂き多くの反響がありました。

片付けが終わった後、何をすれば良いかわからなかつたという言葉が印象的だった。認可保育所と無認可保育所の差。児童福祉法には、「すべての子どもたちに」と書いてあるのに…。認可園を充実させることの大しさを今まで以上に感じた。

「これが昼間の保育中だったらと思うと本当に怖かった。」と経験者から聞いたことがあった。確かにと思った。

生活施設である保育所は、災害時、被災した人を受け入れるのに適している。災害に遭うこと=「保育に欠けている」に当たる保育所の担う役割、今後どんなことが起きても生きていける街・施設づくりに変えていくようにできることを考えたい。

無認可保育所を 認可保育所へ。それが、 10カ所も！増田さん、 すごいなあ…

連載～加盟団体こんにちは～

No.4 ポーアイ子育てスクランブル egg

eggは、2001年の第33回兵庫合研港島実行委員会から誕生しました。第58回もワールド記念ホールで開催されると聞き、まちライブラリーみなとじまにて再開しました。まずは、ポーアイのことを知ろう！と、認定こども園ポートピア・港島学園・神戸市立港島幼稚園の施設長さんのお話を聞き、次回は、わしあクリニックの院長さんのお話です。港島幼稚園では、「英語教育、平仮名の指導など“早期教育”ではなく、今この時期にしかできない経験や、心が動く感動を何よりも大切にしている。子ども一人ひとりが感じ、考え、試し、喜ぶ時間を丁寧に積み重ねることが、これから的人生の土台になる。そんな思いで、子どもたちと向き合っている」とのことでした。

